

兵庫支部を徹底リサーチするボートレースマガジン

アマボートタイムズ

AMA BOAT TIMES

PRESENTED BY
BOAT RACE
AMAGASAKIVOL.
06TAKE
FREE

AMA BOAT TIMESもいよいよ3年目に突入！
Vol.6となる2026年度の第1弾は山下3兄弟の長男、
山下大輝選手が登場！3月に行われた尼崎センブル
カップでも白星をマークした成長著しい若武者の素顔と
本音、そしてボートレース尼崎の魅力をお届けします！



山下3兄弟 長男の素顔

今振り返るデビュー戦の思い出

追い求めるレーススタイルとは

RACER'S HISTORY

レーサーズヒストリー

シミュレーションは
勝利へのプロセス

勝負は「瞬」で決まる。その「瞬」に「知略」をめぐらし「即応」するのがボートレースだ。山下大輝はその奥義の入り口に立っている。

デビュー以降、直感を頼りにレースしていた時期もあったが、結果につながらず考え方を修正。「準備を整えて水上に出るようになった。」

それはレース前のシミュレーション。自身を含めた6人の機力差をはじめ、個々のレーススタイルや戦法、コース取り、スリット隊形、展開など多彩な要素を洗い出し、組み合わせイメージを構築する思考実験である。

こうした「準備」が2025年8月25日の大村優勝戦で結実する。



一時は廃止の瀬戸際に立たされた ボートレース尼崎…



ボートレースは地域の絆で成り立っている

1952年9月14日、全国で5番目のレース場として誕生した尼崎では、開場当初からさまざまなイベントを開催し地域との連携を深めてきた。たとえば、1954年には神戸みなと祭に協賛。神戸港において競技用ボートによる水上パレードを実施している。また、翌年には神戸の須磨浦海岸と淡路島の岩屋との間で「明石海峡横断航走」が実施された。これは水害救援訓練として行われたもので、岩屋では3,000人もの人々に拍手で迎えられたという。さらに、1957年には「納涼花火大会」を、1962年には近畿地区で初めて「第7回国際少年少女モーターボート競技大会（ゴムボート大会）」が開催されている。

時代は高度経済成長期にあり活況を呈してはいたが、将来性を問う議論が起こったのもこの時代。1960年3月の尼崎市市政方針演説では「廃止」が言明されたと記録が残っている。「存続か廃止か」。4年間の白熱した議論の末「存続」となった背景には、「公共性」への地域の理解があったことはいうまでもない。ボートレースは地域とともにあり、社会貢献によって成り立っている。それは普遍的価値である。

GOURMET REPORT

場内グルメレポート

美味しい+美味しい=もっと美味しい！

心地の良い汗が噴き出る

「麻婆合掛けカレー」

大庄中央（メインスタンド3階）

美味しいもの同士を組み合わせたらもっと美味しくなるはず…と考案されたのが「麻婆合掛けカレー」。ビーフベースのカレールーと中辛の麻婆豆腐が合体。それぞれが美味しいのだから万人が納得するの当然だ。リクエストすれば、麻婆豆腐に“追いラー油”も可能。刺激アップで美味しさ倍増である。老若男女問わないおススメグルメはボリュームも満点。勝負メシにうってつけた。

リピート必須の
絶品旨辛グルメ！

HERE!



アクセス ACCESS

編集後記 EDITOR'S NOTE

BOAT RACE 尼崎

〒660-0082

兵庫県尼崎市水明町199-1

阪神電車・尼崎センタープール前駅から徒歩3分

阪急電車・塚口駅、JR・立花駅から無料バス運行

ボートレース尼崎
オフィシャルサイト

トップルーキーの努力の背景にシミュレーションあり！

取材当日、どうしても聞きたいことがありました。それは、今年(2026年)3月30日にボートレース平和島で行われた「スカパー！・第25回JLC杯ルーキーシリーズ第7戦」の優勝戦(結果4着)のことです。山下大輝選手は5コースからまくり差しを狙いましたが、そこにはどんな読みがあったのか、どういう判断をしたのかを知りたかったのです。今回の収録を通じ、迷いなき高速ターンの背景には何度も何度も繰り返されるシミュレーションがあること、その準備があるからこそ即座に反応できることを理解しました。新型コロナウイルスの影響で無観客開催中にプロデビューをした若武者にとって、ファンの存在はひとしおでしょう。ここから先、どのような活躍を見せてくれるのか期待せずにはいられません。

Thank you!



Report!

山下3兄弟の長男 「山下大輝」が見せる素顔

3兄弟全員が

ボートレーサーに!

拓巳(登録番号5273)と5歳、智己(登録番号5333)とは7歳離れていて、智己のオムツをかえてあげていた思い出があります(笑)
庭でキャッチボールとかしてましたね!

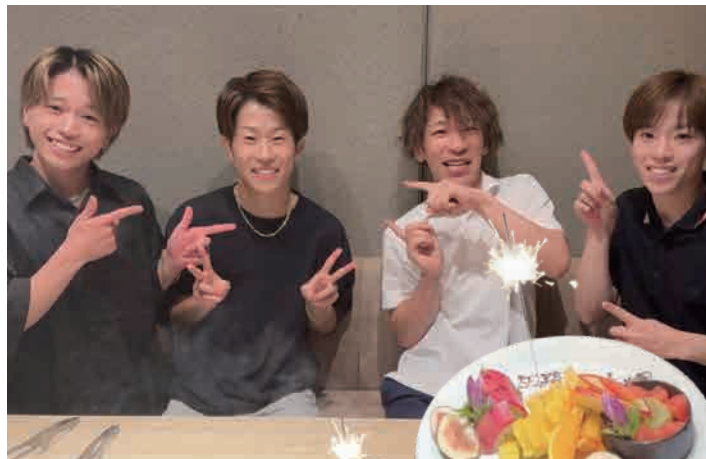
■ 登録番号/5126 ■ 登録期/126期 ■ 生年月日/1996年8月27日
■ 級別/A1級 ■ 身長/164cm ■ 体重/53kg ■ 血液型/A型 ■ 出身地/兵庫県



兄が感じる

弟たちのレーススタイルや特徴

拓巳⇒慎重型。頭で考えてからレースをするタイプで、各レーサーの癖などをよく観察していると思います。
智己⇒直感型。アグレッシブすぎるくらいです(笑)3人で集まった時も「俺のターン見てくれ!」って聞いてきてくれます。



左から智己、自分、田路朋史選手(登録番号4381)、拓巳のプライベートショットです!



兄弟でボートレースの
話はしますか?

よくしますよ! モーター、プロペラ、走り方、色々話します。会話の半分以上がボートレースの話題です! プライベートの相談は、自分じゃなく妻の方にされますね(笑)

ボートの話題になると

意見がぶつかったりしませんか?

喧嘩とかそういう雰囲気にはまったくならないですね。意見の交換というか「教え合い」といった感じです。たまに、「あの時なんでコレしたん?」みたいなダメ出しはありますが、みんな意見を尊重しあうので、いつも平和に終わります!

DAIKI YAMASHITA
PRIVATE TIME
プライベート 癒しの時間

2匹の愛猫と

一緒に遊ぶひととき

今一番癒しになっているのは2匹の猫。
スコティッシュフォールドの「きなこ」&「ごま」。
一緒に遊ぶ時間にとても癒されています。



かわいい寝顔の
ツーショット!



AMABOAT TIMESは、これまでご覧頂いてますか? はい! JLCで流れているのも見たのですが、吉川元浩選手の回を改めてフルで拝見して、「そういうことを思いつて走ってらっしゃるんだ」と勉強になりました!
出演にあたり、ご兄弟から何か言葉はありましたか? 今朝、初めて伝えました(笑) 1番下の弟(登録番号5333)・智己選手)からは「頑張つてー!」と直接応援をもらってきました!
ボートレーサーになりたいと思ったきっかけ
親の実家がボートレース丸亀へ行きやすい場所にあったので、子供の頃から馴染みはあり、高校生の頃もぼんやりと頭にありました。本気で考えたのは大学生の半ば頃です。「自分の本当にやりたいことを仕事にしたいなあ…」と考えるようになりました。
また、ボートレース尼崎で当時実施されていたペアボート体験などに参加したことで、その思いはどんどん強くなっていきました。

合格までの道のり
4回目ぐ位合格することができました。初回は筋力がまったく足りず1次で不合格…。その後は筋トレばかりしていましたね。それと、近くのバッキングセンターに設置されていた動体視力を向上させるマシンでトレーニングもしました。そして、念願が叶い合格することができ、大学卒業の1週間後に養成所へ入学となりました。
養成所時代の思い出
朝だけが本当に苦でした(苦笑) 毎日バタバタしていました…。本当、朝さえなければ楽しい思い出がたくさんあります!
デビュー戦の思い出
スタートは決めることができたのですがプロの舞台ではまだ実力が足りずまったく歯が立ちませんでした。養成所とは勝手が違い、みんなが果てしなく前にいて「どうやってあの集団に追いつけるんだ…」と感じました。レースした気にもなれませんでした。
何より、自分がデビューした頃は無観客開催の時期だったこともあり、



不思議な感覚だったことを今でも覚えています。
初めてファンの皆様の前でレースした時の思い出
「これがレースなんだ!」ととにかく緊張しましたね。今年26年3月の尼崎センプルカップを走らせて頂いたときには、多くのファンの方を水面から目にして本当に嬉しくなりました!
初優勝は2025年8月の大村2度目も大村
あのレースは頭の中で想定していた展開になつて、「あそこにいるこー!」と決めていた通りでした。1周2マークを綺麗にまわった瞬間に「ああ初優勝だ!」と初めて意識しました。モーターに凄く自信があつた節だったのであとは冷静にゴールを目指すことができた。レース場を出て携帯電話の電源を入れ、家族へ最初に感謝を伝えました。
ここまで2回の優勝はボートレーサーとして
山下3兄弟の長男として
自分がボートレーサーになれたことで弟たちは「憧れ」から「実現可能な目標」となったようです。自分の姿を見て拓巳(登録番号5273)が、そしてその姿を見て智己(登録番号5333)が続きました。1緒の職業に就けて凄く嬉しかったです! 共通の話題が増え、昔以上に仲が良くなつて思っています。
ファンの皆様へメッセージ
見ていて楽しいと感じて頂けるようなレースを心掛けこれからも努力をしていきます! 兵庫支部として山下3兄弟の応援をよろしくお願い致します!

DAIKI YAMASHITA
PERSONAL Q&A
一問一答

Q 体調管理で気を付けていることは?
A 野菜を意識的に摂るようにしています

Q 最近、旅行で行った場所は?
A 家族で宮古島
に行ってリフレッシュしてきました!

Q レースに挑む際のジグスやルーティーンは?
A ルーティーンは
作らないことにしています
やれなかった時に、逆に気にしてしまうので…

Q 出場してみたいSGは?
A ボートレースオールスター
レーサーとして推して頂いていることに幸せを感じます
無観客開催期間中のデビューだったのでその思いが強いのかもかもしれません

Q 勝負事においては「データ派」? 「直感派」?
A 「データ派」です! 事前準備をしっかりとしたい派です

Q 好きな食べ物は?
A 妻が作ってくれる唐揚げ!
それと、からあげクン(レギュラー)も大好きです!

Q 座右の銘は?
A 座右の銘みたいなものは無いのですが…
「チャンスは準備をしている人のところにしか来ない」
といつも思っています。だからこそチャンスを待てるように、スタートはいつも積極的にいくように心がけています!

Report!

RACER'S
INTERVIEW

レーサーズインタビュー

ボートレーサーとしての
これまでとこれから



不思議な感覚だったことを今でも覚えています。
初めてファンの皆様の前でレースした時の思い出
「これがレースなんだ!」ととにかく緊張しましたね。今年26年3月の尼崎センプルカップを走らせて頂いたときには、多くのファンの方を水面から目にして本当に嬉しくなりました!

初優勝は2025年8月の大村2度目も大村

あのレースは頭の中で想定していた展開になつて、「あそこにいるこー!」と決めていた通りでした。1周2マークを綺麗にまわった瞬間に「ああ初優勝だ!」と初めて意識しました。モーターに凄く自信があつた節だったのであとは冷静にゴールを目指すことができた。レース場を出て携帯電話の電源を入れ、家族へ最初に感謝を伝えました。
ここまで2回の優勝はボートレーサーとして
山下3兄弟の長男として
自分がボートレーサーになれたことで弟たちは「憧れ」から「実現可能な目標」となったようです。自分の姿を見て拓巳(登録番号5273)が、そしてその姿を見て智己(登録番号5333)が続きました。1緒の職業に就けて凄く嬉しかったです! 共通の話題が増え、昔以上に仲が良くなつて思っています。
ファンの皆様へメッセージ
見ていて楽しいと感じて頂けるようなレースを心掛けこれからも努力をしていきます! 兵庫支部として山下3兄弟の応援をよろしくお願い致します!

TO TRAIN

日々のトレーニング

しなきゃいけないのは分かっているのですが…(苦笑い)
プロペラに費やす時間のほうが断然多いですね!

ボートレースの魅力

「見ていて迫力がある」ところだと思います。特に1周1マークの攻防に注目です! 音やスピード感を感じてください!
自分もファンとしてボートレースを見ていた時には「カッコいい!!」と思っていました。